

# しずおか自治連だより

平成27年9月1日現在推計人口703,393人 自治会・町内会数956会

## ❖ サッカーによるまちづくり



▲地域交流応援シート参加者(入場の様子)

6月から7月にかけて、カナダで開催されたサッカーワールドカップでの「なでしこジャパン」の準優勝の活躍が、まだ記憶に新しいところです。

昨年の男子大会でも、かつてのような本市出身選手の出場や活躍は無く、サッカー王国の復活が待たれます。

このような中、本年もまた全国少年少女草サッカー大会が全国から男子256チーム、女子32チームが集まり、第29回大会が8月14日から18日の5日間、市内の小中学校等を会場に開催されました。

試合記録を中学生が、審判を高校生が、運営を地元育成会等の保護者の皆さんが担当する地域住民のボランティアに支えられた大会です。サッカーのまち静岡にしかできない、全国に誇ることのできる大会となっています。

サッカーが本市のスポーツ文化として、地域に根差している一例と言えます。

また、高校サッカーでは、正月の静岡学園高校に続き、8月の全国高校総体へ清水桜が丘高校が学校合併(清水商業高校と庵原高校)後、初めて出場しました。

静岡市は、サッカーによるまちづくりを推進しており、本市のシンボルとも言える清水エスパルスと共同事業を実施しています。

私たち静岡市自治会連合会は、これに呼応し、エスパルスのホームゲームを観戦する「地域交流応援シート」に協力し、家族や地域住民同士の交流機会として活用しています。

今後も多くの自治会員の皆さんにIAIスタジアム日本平へ応援に出かけていただきたいと思います。

さて本年は、市を挙げて「家康公400年祭」に取り組んでいます。

天下泰平の世を築いた徳川家康公が愛したまち静岡から、平和の祭典である5年後の東京オリンピック大会・パラリンピック大会へ数多くの選手を送り出せるよう、官民一体となり本市のスポーツ文化をさらに磨き上げていきましょう。

▼全国でサッカースタジアムの建設構想が進行中です。  
平成27年2月竣工「南長野運動公園総合球技場」



静岡市でも、昨年7月、エスパルスより、Jリーグクラブライセンスに適合した新スタジアムの建設要望書が田辺信宏市長へ提出されました。

## ❖ ホームローヤー制度について

静岡県弁護士会と静岡市自治会連合会は会員の皆様のために、電話無料法律相談を実施しております。詳しくは、静岡県弁護士会ホームページをご参照ください。

## ❖ ネパール救援金協力のお礼

静岡市自治会連合会の会員の皆様から12,463,520円もの多くの善意が有りました。救援金は、全額日本赤十字社静岡市地区本部長田辺信宏様に託しました。ご協力ありがとうございました。

内訳:清水区 6,020,780円、葵区 3,110,960円、駿河区 3,331,780円(H27.8.4現在)

# 奥藁科大川



生家米沢家 しだれ桜



静岡山笠 (静岡まつりより 4/5)



水汲の儀



博多祇園山笠 (7/15)

## ■大川と聖一国師

聖一国師は大川地区栃沢の米沢家に生まれ、1235年、宗に渡り禅宗の修行に励み、帰国後中国から持ち帰ったお茶の実をまいたことから、静岡でお茶の栽培が始まったと伝えられています。米沢家は現存し、その門前には聖一国師が生まれたとされる石碑がたっています。また石碑の傍には樹齢300~400年と言われる高さ20m、枝張り17mの立派なしだれ桜があり、3月下旬には濃いピンクの花を咲かせます。

聖一国師は帰国後、福岡県博多区に臨済宗「承天寺」を創建しました。博多に疫病が流行した際、聖一国師が水を撒きながら町を清めてまわり、疫病退散を祈祷したことが博多祇園山笠の発祥とされています。その祭りで、山笠を担ぐ人たちに水をかけますがその水を、生家米沢家より頂戴し、承天寺まで届けています。その行事「水汲みの儀」は毎年7月7日に厳粛に行われます。このことから博多との交流も生まれ、毎年祇園山笠に参加させて頂いています。

## ■湯ノ島温泉

静岡市を流れる安倍川の支流藁科川。その最上流部の奥藁科に、湯ノ島温泉はあります。藁科川の清らかな流れを眺めながら、ナトリウム炭酸水素塩冷鉱泉で、ぬるぬるしたお湯が特徴の良質な温泉でゆっくりと疲れを癒してください。神経痛、冷え性、皮膚病などに効果があります。

毎年3月・9月の最終日曜日に温泉祭りを開催。多くの入館者が訪れます。



## ■日向の七草祭り

日向の七草祭りは、昭和55年に指定された静岡県の無形民俗文化財で、旧暦の正月7日(現在の2月)に葵区日向の福田寺で行われます。午前中に行われる「日之出祈祷」と、田遊びと呼ばれる、その年の豊作を祈る夜祭りとで構成されています。



## ■大川収穫祭(11月第4日曜日開催)

毎年11月に開催される「大川収穫祭・農協ふるさと祭り」は、その年に収穫された農作物に感謝し、地域の活性化と市街地との交流を目的として開催されるお祭りで、平成12(2000)年から始まりました。地元大川の8地区が揃い、地域総出で秋の収穫を祝います。

## 駿河区みんなでエコライフプロジェクト

駿河区自治連合会では、昨年に続き標記の件を事業計画の課題として取り組んでいます。最近の異常気象や海面上昇につながる地球温暖化を防ぐには、温室効果ガスの削減が必要となります。日常生活の中で省エネLEDの普及率をあげる、ごみの減量、4R運動の推進、二酸化炭素を吸収する樹木の養生など身近な問題について活動を続けることが大切です。5月20日に変動する気象、地球温暖化防止の講演会を開催し地域から320人余の方に参加していただきました。

### 1. 地球温暖化・異常気象と静岡県への影響

東京管区気象台地球温暖化情報官 **戸川 裕樹 氏**

### 2. 家庭から考える温暖化防止と持続可能な地域社会

日本総合研究所 主席研究員 **藻谷 浩介 氏**



## FM-HI 町内会ラジオ 毎月第一、第三 水曜日 午後12時45分～13時00分

シティエフエム静岡は災害時に情報を伝える目的であり、日常わが町の回覧板として駿河区の地域の歴史、文化、観光などの話題を放送するものです。第一回は4月8日坪井会長が駿河区全体像について話されました。4月22日長田南自治連合会用宗活性化協議会内山事務局長、5月13日長田西自治連合会丸子まちづくり協議会白井観光部会長が話されました。続いて各学区毎に放送されます。



駿河区自治会連合会 坪井会長

駿河湾に面し津波の対策に力を入れています。しかし、久能山東照宮・日本平動物園・登呂遺跡・丸子宿・美術館・舞台芸術などスポットも多くあり、ラジオを通して多くの皆さんに駿河区の魅力を知って頂きたい。



長田南自治会連合会  
(用宗活性化協議会事務局長)



長田西自治会連合会  
(丸子まちづくり協議会観光部会長)

## 久能山東照宮

—家康が好んだとされる  
「折戸なす」の奉納行事—

一度は途絶えていた「折戸なす」が、生産者の努力によって再開され、今回の家康公四百年祭という節目に久能山東照宮へ奉納されました。

※三保第2小学校・東海小学校のみなさん



## 【だいだらぼっちの夢】という碑 平成5年建立

伝説の巨人で、富士山に腰掛け、琵琶湖をすくって(国土開発)をする等、各地で大事業をしてきた。その、だいだらぼっちが空を舞ってこの静岡市を見ている碑なのである。この地域は30年に及ぶ静清土地区画整理事業が行われたところであります。(碑は彫刻家 高木 大 氏 製作)



県立美術館 けやき通り宮の後公園

清水においでよ



## 江尻 EJIRI

Hot spot 平成の江尻宿

「コミュニティ・スクール江尻 “江尻っ子の笑顔を江尻に 江尻の力を江尻っ子に”」



私は「さくら」

僕は「ともえ」

ぼくたちは江尻小学校のゆるキャラマスコットです



さくらちゃん、  
江尻ってどんなところなの？



江尻は、戦国時代には武田信玄が築いた「江尻城」の城下町で、現在の江尻小学校は、お城の本丸跡に立てられているのよ。江戸時代になって、東海道の宿場「江尻宿」として栄えたんですって...



江尻小学校は静岡市では唯一の  
コミュニティ・スクールだと聞いたんだけど、  
どんな学校なの？



出展:江尻宿まちぶらマップ



コミュニティ・スクールは、保護者や地域住民がみんなで創っていく学校のことなの。江尻小学校では、子どもたちが地域に出かけてお年寄りと交流したり、クラブ活動や授業で地域の方が先生として登場したり、地域と学校の垣根がなくなっているのよ。

そういえば、僕たちもこの頃地域の行事によく呼ばれるよね。江尻小学校のまわりにあるウォーキングコースも楽しいし、この頃は、銀座商店街を盛り上げプロジェクトとか、巴川の清掃活動とか、小学生が地域のために頑張ってるよね。



コミュニティ・スクールになって、まちの空気が変わったってみんなが言ってるね。きっとかけがえのない故郷として、21世紀の「江尻宿」が地域の人に愛され続けていくはずよ。

生産年齢人口の減少、グローバル化、技術革新等の変化の激しい未来社会を生き抜いていく国民と地域育成のカギは、コミュニティ・スクールの創設にあります。江尻地域は江尻小を中心に、持続可能で負担のない平成の江尻宿「コミュニティ・スクール」の創設に取り組んでいます。

連合自治会長&コミュニティ・スクール委員長 鈴木 榮

### 日本少年サッカー発祥の地

江尻小学校は、日本少年サッカー発祥の地であり、小学校の横に位置する魚町稲荷神社にはその石碑がおかれています。昭和31年に江尻小学校にサッカー好きな教師が赴任しサッカーを教え、その様子を見て校長が「ボールを足で蹴ってはいけない」という校則をなくした事が日本初の少年サッカーチームのきっかけになったそうです。

静岡市清水区は「清水エスパルス」のホームということもあり、毎年、リーグ戦開幕前に、この魚町稲荷神社に必勝祈願に訪れています。

